

西山古墳(天理市)

正面が西山古墳/3段築成で1段目は前方後方形、2段目からは前方後円形という珍しい墳形/4世紀後半の築造/左手前が前方部、右奥が後方部



前方後方墳としては全国最大/手前は古墳の周囲に巡っていた周濠の名残り/説明板が立っている/西側から見たところ



埋葬施設は未調査であるが、墳頂部で大阪芝山安山岩の板石が見つかっており、竪穴式石室と思われる

史跡 柚之内古墳群

柚之内町に所在する前方後方墳です。墳丘は全長約190mを測り、前方後方墳としては全国最大規模です。柚之内古墳群を代表する前期古墳として知られています。

墳丘 墳丘は3段築成で、1段目のみ前方後方形、2段目から上が前方後円形となる特異な形状です。古墳の周囲に巡っていた周濠は前方部に隣接する古池に名残を残しています。後方部墳頂には柏原市芝山の板石が散乱していたことが知られており、竪穴式石室が存在したと考えられています。古墳時代終末期には北側の外堤を取り込んで塚穴山古墳が造られました。

古池の護岸改修に伴って平成12(2000)年に天理市教育委員会がおこなった発掘調査では、池内において前方部前面裾が確認されました。また、平成24～25(2012～13)年には柚之内古墳群研究

西山古墳 (古墳時代前期)

会により精密な墳丘測量が実施されました。

遺物 昭和62(1987)年に埋蔵文化財天理教調査団が西山古墳北側に隣接する塚穴山古墳を発掘調査したところ、塚穴山古墳南東部分の下層から西山古墳の外堤が確認され、3基の埋葬施設が見つかりました。そのうちのひとつである埴輪棺墓に使用された埴輪棺7個体は、これまでに西山古墳で採集されていた埴輪と類似しており、もともと西山古墳に樹立されていたものと考えられています。

出土した埴輪の時期から、西山古墳は古墳時代前期後半に築造されたと考えられています。

昭和2(1927)年4月8日国史跡指定 平成30(2018)年2月13日史跡名称変更
平成30(2018)年3月 天理市教育委員会



西山古墳の埴輪



そまのうち古墳群の分布





空から見た西山古墳

「史蹟西山古墳」と記された標柱が立つ/フェンスの向こうに後方部(左手)、前方部(右手)が見える/その手前は周濠の名残り



フェンスの上から覗き込むと周濠の名残りはこんな塩梅/右手に西山古墳



そこから左手を見たところ/前方の木々の裏が塚穴山古墳



これは東側から見たところ/左手前が後方部、右奥が前方部/手前に標柱が立っている





史蹟西山

正面は後方部/こちらにも説明坂が立っている/この先から墳丘に登る道があるようだが、藪がきつくて断念



参考ホームページ

https://74589594.at.webry.info/201101/article_2.html

<http://www.tenri-u.ac.jp/nishiyamatour/>

http://kanko-tenri.jp/kanko_guidance/tyubu/nisiyama_kofun.html

<https://plaza.rakuten.co.jp/kasutera26/diary/201505210000/>

<https://blog.goo.ne.jp/noda2601/e/74b1ba951433c1964a0503bfbcb7959ed>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2018/04/27/000000>

<https://enkieden.exblog.jp/19292036/>

https://blogs.yahoo.co.jp/sagashigaookuwa/24888476.html?_vsp=6KW%2F5bGx5Y%2Bk5aKzIOWkqeeQhuW4gg%3D%3D

http://0akira0.blogspot.com/2015/03/blog-post_70.html

<http://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-528.html>

<http://avantdoublier.blogspot.com/2009/01/blog-post.html>

